

# 交渉結果報告書

市長公室 人事課

交渉内容 2012春闘要求書の回答等について  
交渉日時 平成24年4月27日(金) 15時00分～17時00分  
交渉場所 8F大会議室  
交渉出席者 当局側 久保田市長 平本人事監 栢木市長公室長 星川次長 秋元課長  
正垣主幹兼人事研修係長 雲丹亀給与係長  
組合側 田中執行委員長 副執行委員長 書記長 書記次長他執行委員等 計14人

概要	要
組合の主張	2012春闘要求書の回答等に関する交渉を行った  ① 国家公務員の給与を平均7.8%削減する臨時特例法に対する当局の姿勢を改めて確認したい。  ② ごみ収集作業等従事手当は、今年度から日600円となった。特勤手当については昨年の交渉で整理されており、その経過を無視した見直し論議は極めて問題。  ③ 時間外勤務の課平均が200時間を超える職場は問題という認識が必要。180時間を超える職場は何らかの対応が必要な職場と位置づけての対応を求める。  ④ 市民税課の異常な時間外勤務が職員に強いられている。どう受け止めているか。抜本的に対策を取らないと今後も続くということになる。
当局の主張	① 地方の給与については、他団体の動向等を参考に地方自治体が決定するのが原則と考える。今のところ国の動きに応じるつもりはない。  ② できるだけ早い時期に見直しを図りたいので、今後、協議を重ねていきたい。  ③ これまでに増して所属長ヒアリング等をおこない、時間外勤務の縮減に努めたが、思ったように進まなかった。時間外勤務が多い職員・職場についてはその原因を十分に検証し、組織的にフォローすることが必要である。当局として重く受け止めている。  ④ この間の問題点を十分に検証の上、来年度の対策をきちんと検討したい。